

神石高原地域創造チャレンジ基金

評議員会議案書

議案

第1号議案 令和4年度 収支決算報告

第2号議案 令和5年度 事業活動計画

第3号議案 令和5年度 予算計画

第4号議案 チャレンジ基金の理事・監事の選任

CHALLENGE

神石高原地域創造チャレンジ基金

神石高原地域創造チャレンジ基金は、新しいタイプの地域に貢献する基金として、2017年9月に設立。おかげさまで、令和5年度で7期目を迎えることとなりました。

当法人は、神石高原町地域における産業の振興をはかり、地域のにぎわいを創出することにより、当該地域の事業体の運営を支援し、当該地域が継続的なコミュニティとして発展拡大することに寄与することを目的に設立されたものになります。そのような新しいタイプの基金として資金的支援に加えて非資金的支援としての「伴走型支援」と呼ぶ経営指導を共に実施することで、事業者の経営安定化と自律運営の早期達成を目指します。この極端に少子高齢化と人口減少が進行した神石高原町であるからこそ、新しい事業創造を図り、地域の活性化、にぎわい創出に繋げていきたいという現町長の強い決意から生み出されたものです。

前年度は法人設立6期目となりました。引き続きコロナ禍の影響をうけながらではありましたが、自粛が徐々に解除され、少しずつ定常状況に戻りつつある中での一年でした。そのような状況下ではありますが、上半期には1件の申し込みと支援実行（前年度検討案件の継続検討と実行）、下半期には説明会にはご参加いただきましたが、継続検討案件の確認のみとなりました。説明会・セミナーはリアル・オンラインでの併用参加が定着し、引き続きご参加および実際の案件支援申し込みをいただきました。コロナ禍が一段落した前々年度には多くのご支援申し込みをいただきましたが、基金スタートしまして、6年が経過し、ご支援申し込みも30件を超え、支援の実施も10件をかぞえることとなり、顕在化可能な事業スタートのニーズには対応してまいりましたが、ここに来て一段落をしたのでは、との想いを運営サイドとしては持つにいたっております。そのためにも新年度におきましては、基金の今後をみすえた地元ニーズにも応えた新しいタイプの支援も検討し、基金の運営は次のフェーズに進化させて、継続していく必要があることを強く感じた次第です。

令和4年度は、活動方針の予定通り、サテライトオフィス設立の拡大、「まるごと高専」の設立等で、中山間地域の活性化にて注目されている徳島県神山町への視察旅行を基金が主催で実施いたしました。現地にての様々な取り組みを、基金の支援先、神石高原町の関係者、ご応募いただいて参加された皆さまと一緒に実際に体験してまいりました。そこから得た示唆を通じ、基金のみならず、神石高原町における新しい取り組みに活用できればと考えております。

また現在までに資金支援決定済みの案件につきましては、経営的支援と資金支援を実行し、事業の推移を見守りながら、支援先の意向に沿った形での伴走支援を継続しております。

現在までに11回の支援案件募集におきまして、申し込みベースではありますが累計30件、5億円相当の資金支援依頼を頂戴し、この地域においてチャレンジする姿勢をもった事業者を顕在化させてまいりました。申し込みいただいた業種も、農産物生産加工中心に、サービス、観光、インフラ関連等々と多岐にわたります。このようにこの6期を通じ、地域における潜在的な資金調達ニーズは明らかにあり、また業種も幅広いものという手ごたえをもっております。そして今後も新しい案件募集の形を検討することで、引き続き神石高原町における地方創生・地域創造のロールモデルとして、ノウハウを蓄積し、発信をしてまいります。

弊基金の運営に多大なるご助力をいただいております数多くの皆様のご厚情に改めて感謝申し上げます。本年も大口の寄付を頂戴しましたことで、2年続けて、民間から頂戴した寄付金で、基金の運営部分の費用をカバーできましたことを心より感謝しております。今後とも新しいビジネス

チャレンジ事業者の成功と次世代に対しての資金循環をもって、基金の成長として、期待に応じてまいりたいと存じます。引き続きのご支援のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

ご報告事項： 令和4年度事業報告

【前年度の事業活動方針】

<事業計画の基本方針>

神石高原町において、少子高齢化と人口減少は引き続いて進んでおり、長引くコロナ禍の影響もあり、歯止めをかける一手が必要不可欠な状況です。そこで次代を担う人材の新しいチャレンジを継続して応援することで、新しい事業創造を図り、地域の活性化、にぎわい創出に繋げていくという決意のもとにスタートをきった神石高原地域創造チャレンジ基金。第6年度を始めるにあたり、引き続きのコロナ禍で先が見通しにくい状況ではございますが、このような状況下でも新しい事業を検討されるみなさまの少しでもサポートができるよう、継続して、臨機応変に対応し活動することで地域の活性化をめざして運営してまいります。

本年度も合計 3,000～5,000 万円程度の資金支援実行をめざします。現在までに採択された支援先に対しては、引き続き、経営的にも妥当でかつ支援先が望む形での経営実行の支援を実施してまいります。ウィズコロナの新しい時代ではありますが、その状況を前提に、みなさまへの支援を通じて支援先の事業価値が向上し、当初の資金支援部分が基金に償還されることで、地域資源が循環し、神石高原町の地域活性化を目指しての将来の事業チャレンジ先に資金支援が更に実行できることを目指します。また、広報においても引き続き全国的にもユニークな基金として周知していくと共に、視察旅行を開催し、先進的な地域課題の解決に取り組む地域との横の横断的なつながりも広げていく、基金の運営状況を地域住民の方々向けにもより具体的に情報を発信していきます。

基金からの資金支援および基金の運営に振り向ける資金を引き続き、民間からも広く寄付を募集し、本年も継続獲得をめざして募集広報活動を実施いたします。

<本年度の実行目標>

- 事業募集の継続(年2回)説明会、個別相談会の運営、事業評価選定委員会の開催
- ビジネスチャレンジ事業者を継続して呼び込むため、事業計画作成勉強会などの取組を引き続き実施する
- 既存支援先に対しては、経営的支援など具体的支援を継続し、ビジネス事業者の早期の経済的・事業的な自律を目指す
- 定期的に既存支援先訪問を行う事で信頼関係の更なる構築、状況把握を行う
- 基金の実質運営体制については、引き続き地域の方中心で行えるよう移行していく
- 基金が主催しての、先進的に地域創生に取り組む地域(徳島県神山町予定)への視察旅行の実施
- 神石高原町に留まらず、地域内外での認知度を継続して向上させる

【事業募集から選定、支援開始まで】

・第10回申込募集（期間：R4年7月1日～R4年8月31日）

- ・事業募集説明会の神石高原町内への有線放送での告知(説明会前日・当日)
- ・事業募集説明会を実施（R4年7月12日、13日、8月11日）：合計3回、参加団体2件（うち1回は事業計画作成講習も併せて実施）
- ・個別相談会実行（7月1日～8月31日、随時）：合計、参加団体1件
- ・募集締め切り時(R4年8月31日)、申込件数（1件、1,000万円）
- ・最終申込件数（1件、1,000万円）
- ・事務局にて、チェックシートによる事業計画内容を検討(R4年9月前半)
- ・第10回事業評価選定委員会の開催(R4年9月26日)、支援候補を理事会に答申
- ・理事会にて、支援先の方針を採択(R4年9月26日)

・第11回申込募集（期間：R4年12月1日～R5年1月31日）

- ・事業募集説明会の神石高原町内への有線放送での告知(説明会前日・当日)
- ・事業募集説明会を実施（R4年12月14日、15日、R5年1月12日）：合計3回（うち1回は事業計画作成講習も併せて実施）参加団体2件
- ・個別相談会実行（R4年12月1日～R5年1月31日、随時）：合計、参加団体1件
- ・募集締め切り時(R5年1月31日)、申込件数および金額（継続検討案件1件、1,000万円）
- ・申込者面談および案件相談の実施（R4年2月前半にて全先実施）
- ・最終申込件数（継続検討案件1件、1,000万円）
- ・事務局にて、チェックシートによる事業計画内容を検討(R5年2月前半)
- ・第11回事業評価選定委員会の開催(R5年2月22日)、支援候補を理事会に答申

<上記事業を運営する事業体への事業運営支援および概況>

- 合同会社中ちゃん農園（第1回：200万円資金支援実行済）
⇒ R4年度に完済。現在も引き続き農業と加工場を活かし新しい商品開発に取り組まれている。
- ㈱ヴィレッジホーム光末（第1回：1,000万円、第2回が1,000万円計2,000万円資金支援実行済）
⇒ オール広島での支援体制を構築し、当初想定通りの事業運営を遂行。資金実行承認済みの分割分2回目の資金支援（1,000万円）を実行。子牛用牛舎を拡充して事業運営を継続中です。
- ㈱フェアトラベルジャパン（第2回、1,000万円。資金支援実行済）
⇒ 事業は開始されている一方でコロナ渦による影響大きく、国内需要にシフトし運営中です。
- ㈱ナオライ神石高原（第3回、300万円。資金支援実行済）
⇒ 1回目の償還をいただきました。浄酎の販売大幅拡大にむけて事業遂行中です。
- ㈱ヤマテツ Rising（第4回、1,000万円。資金支援実行済）
⇒ 3期目も順調に事業運営中です。最近町内向けにDMも発送。少しずつ個人のお客さんも獲得され、予定通り2022年11月に2回目の償還済みです。

- ㈱ダストマンズ（第5回、500万円。資金支援実行済）
⇒ 映像業界自体はコロナ禍の影響を受けたものの巣ごもり需要にて引き続き Youtube 事業が好調。2023年5月頭に2回目の償還済みです。
- ㈱ドローンシナリー（第5回、240万円。資金支援実行済）
⇒ ドローンスクールは開講済みです。生徒数は伸び悩んでいますが、予定通り2022年6月に2回目の償還済みです。
- ㈱アールティ（第7回、400万円。資金支援実行済）
⇒ ヨモギ茶の製造販売事業は開始されております。コロナ禍の影響でECにシフトされ、引き続き大口のメーカーを卸がメインとなっております。諸方面への営業拡大を継続し事業運営中です。
- ㈱神石高原グリーン電力株式会社（第8回、2,700万円。資金支援実行済）
⇒ 河川工事が完了し、機器納入済み。2か月の遅れがあるもの6月頭を目処に売電事業を開始予定。
- ㈱BINGO（第9回、1,500万円。資金支援実行済）
⇒ 神石高原町のジビエ加工工場は完成し、買取含めた神石高原町におけるペットフード事業をスタートされております。

<その他、当法人の目的を達成するために必要な事業>

●組織基盤の確立と運営

【評議員会】R4年5月28日

R2年度の決算および事業活動報告とR3年度の予算および事業活動計画の承認

【理事会（メール等による電子決済は必要な場合、随時遂行）】

<第15回理事会> R4年5月14日

- ・H3年度の決算および事業報告書の検討
- ・R4年度の予算および事業計画書の検討
- ・R4年度の公募方針の確認

<第16回理事会> R4年9月27日

- ・前回理事会以降の報告
- ・既存支援案件毎の状況報告
- ・第10回募集における事業評価選定委員会からの答申を受けて事業者の方針決定
- ・今年度の第2回目募集方針に関する事項

<第17回理事会> R5年2月22日

- ・第11回募集案件について検討
- ・事業評価選定委員会からの答申を受けて事業者の方針決定
- ・次年度事業案および事業計画について
- ・事業説明会以外の施策について

【事業評価選定委員会】

<第10回評価選定委員会>R4年9月27日

- ・第10回の募集案件の検討と採択
- ・事務局で整理した事業案件についての審査を行い、理事会に対して答申

<第11回評価選定委員会>R5年2月22日

- ・第11回の募集案件の検討と採択
- ・事務局で整理した事業案件についての審査を行い、理事会に対して答申

【視察旅行の実施】

<徳島県神山町視察旅行>R4年6月23~24日

・チャレンジ基金と、神山グリーンバレーとの連携で、1泊2日にて、現地における中山間地域活性化の様々な取組の実地体験およびコーディネーターのセミナー受講、現地にて取り組まれている様々な方々との交流会等を実施。

・基金支援先のフェアトラベル社のコーディネートにより、参加者は、支援先関連（3件）、神石高原町関係者（1件）、視察申込者（2件）、基金関係者（3件）にて実施

・神山町の方々との関係は深耕され、継続的に情報交換も実施。令和5年度開催想定、基金のフォーラムにもご参加いただく予定です。

●業務運営基盤の継続

- ・定常運営業務関連および広報関連業務の地元スタッフへの移行に向けた体制構築
- ・会計関連業務の定型化と、決算・財務関連業務運営体制の確立

●収益基盤の確立

- ・直接寄付は今年度は1件。（合計800万円）
- ・ふるさと納税経由の寄付も今年も実行いただいた（250万円）
- ・前年の大口寄付を実行いただいた先への御礼訪問も実行
- ・おかげさまで、運営部分の費用は民間からの寄付にてすべてカバー（2年連続）

●基金の広報関連

- ・ホームページ（jinseki-kikin.jp）：トピックス記事7件掲載
- ・ニュースリリースの公開、合計1件
- ・FM福山のラジオ番組に吉田事務局長が出演して基金の紹介実施（23年2月3日）
- ・支援先に関する3回目の年次報告書を作成。広報に活用。今後も毎年見直して作成
- ・支援先に関しての支援後の効果（売上高向上、雇用数向上、メディア掲載等）を集計。今後、まとめを報告書等にて告知予定

●後援・協賛・協力名義について

1.以下の事業に共催・後援・協力名義の使用を許可した。

【共催】

特になし

【後援】

特になし

【協力】

特になし

2.チャレンジ基金として、以下の会合に参画・提言を行った。

■[会議参加]

特になし

3.チャレンジ基金が、加盟している団体、連合体は以下の通り
神石高原町法人会

第1号議案：

前年度の決算は以下の通りである。

正味財産増減計算書

令和4年4月1日～令和5年3月31日

一般会計

(単位:円)

科 目	当 年	前 年	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 受取寄附金	[7,518,114]	[7,793,360]	[△ 275,246]
受 取 寄 附 金	0		0
受 取 寄 附 金 振 替 額	7,518,114	7,793,360	△ 275,246
② 受取補助金	[0]	[0]	[0]
受 取 補 助 金	0		0
受 取 補 助 金 振 替 額	0	0	0
③ 雑収益	[325]	[404]	[△ 79]
受 取 利 息	325	404	△ 79
経 常 収 益 計	7,518,439	7,793,764	△ 275,325
(2) 経常費用			
① 事業費	[4,807,888]	[5,079,715]	[△ 271,827]
役 員 報 酬	0	0	0
給 料 手 当	1,848,000	1,883,000	△ 35,000
業 務 委 託 費	2,403,940	2,971,540	△ 567,600
旅 費 交 通 費	461,135	200,393	260,742
通 信 運 搬 費	8,723	12,782	△ 4,059
租 税 公 課	40,000	12,000	28,000
支 払 手 数 料	46,090	0	46,090
② 管理費	[2,638,466]	[2,643,049]	[160]
役 員 報 酬	210,600	0	210,600
給 料 手 当	792,000	807,000	△ 15,000
法 定 福 利 費	7,972	7,715	
業 務 委 託 費	1,195,260	1,155,660	39,600
謝 金	200,000	200,000	0
旅 費 交 通 費	116,926	325,438	△ 208,512
通 信 運 搬 費	10,702	16,760	△ 6,058
地 代 家 賃	0	17,500	△ 17,500
諸 会 費	6,000	6,000	0
租 税 公 課	0	0	0
支 払 手 数 料	89,606	92,576	△ 2,970
雑 費	9,400	14,400	△ 5,000
経 常 費 用 計	7,446,354	7,722,764	-276,410
当期経常増減額	72,085	71,000	1,085
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	[0]	[0]	[0]
経 常 外 収 益 計	0	0	0
(2) 経常外費用	[0]	[0]	[0]
経 常 外 費 用 計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	71,000	71,000	1,085
法人税、住民税及び事業税	71,000	71,000	0
当期一般正味財産増減額	0	0	0
一般正味財産期首残高	3,000,000	3,000,000	0
一般正味財産期末残高	3,000,000	3,000,000	0
II 指定正味財産増減の部			
受 取 寄 附 金	8,000,000	3,000,000	5,000,000
受 取 補 助 金	2,506,300	6,568,600	△ 4,062,300
一般正味財産への振替額	7,518,114	7,793,360	△ 275,246
当期指定正味財産増減額	2,988,186	1,775,240	1,212,946
指定正味財産期首残高	14,074,722	12,299,482	1,775,240
指定正味財産期末残高	17,062,908	14,074,722	2,988,186
II 正味財産期末残高	20,062,908	17,074,722	2,988,186

貸借対照表

令和5年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当 年	前 年	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
現 金 預 金	1,089,982	939,688	150,294
未 収 入 金	2,506,300		
仮 払 金	26,870		
流 動 資 産 合 計	3,623,152	939,688	150,294
2 固定資産			
特定資産			
現 金 預 金	16,229,738	44,224,722	△ 27,994,984
投 資 有 価 証 券	91,300,000	62,850,000	28,450,000
特定資産合計	107,529,738	107,074,722	455,016
固定資産合計	107,529,738	107,074,722	455,016
資 産 合 計	111,152,890	108,014,410	605,310
II 負債の部			
1 流動負債			
未 払 金	955,496	821,756	133,740
未 払 法 人 税 等	71,000	71,000	0
預 り 金	63,486	46,932	16,554
流 動 負 債 合 計	1,089,982	939,688	150,294
2 固定負債			
長 期 借 入 金	90,000,000	90,000,000	0
固 定 負 債 合 計	90,000,000	90,000,000	0
負 債 合 計	91,089,982	90,939,688	150,294
III 正味財産の部			
1 一般正味財産	3,000,000	3,000,000	0
2 指定正味財産	17,062,908	14,074,722	2,988,186
正味財産合計	20,062,908	17,074,722	2,988,186
負債及び正味財産合計	111,152,890	108,014,410	3,138,480

令和4年度 正味財産増減計算書内訳表

令和4年4月1日～令和5年3月31日

一般会計

(単位:円)

科 目	産業振興・ 地域活性化支援事業	法人会計	法人合計
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 受取寄附金	[4,807,780]	[2,710,334]	[7,518,114]
受 取 寄 附 金	0	0	0
受 取 寄 附 金 振 替 額	4,807,780	2,710,334	7,518,114
② 受取補助金	[0]	[0]	[0]
受 取 補 助 金	0	0	0
受 取 補 助 金 振 替 額			0
⑤ 雑収益	[108]	[217]	[325]
受 取 利 息	108	217	325
経 常 収 益 計	4,807,888	2,710,551	7,518,439
(2) 経常費用			
役 員 報 酬	0	210,600	210,600
給 料 手 当	1,848,000	792,000	2,640,000
法 定 福 利 費	0	7,972	7,972
業 務 委 託 費	2,403,940	1,195,260	3,599,200
謝 金	0	200,000	200,000
旅 費 交 通 費	461,135	116,926	578,061
通 信 運 搬 費	8,723	10,702	19,425
事 務 用 品 費	0	1,085	1,085
地 代 家 賃	0	0	0
諸 会 費	0	6,000	6,000
租 税 公 課	40,000	0	40,000
支 払 手 数 料	46,090	89,606	135,696
雑 費	0	9,400	9,400
経 常 費 用 計	4,807,888	2,639,551	7,447,439
当期経常増減額	0	71,000	71,000
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	[0]	[0]	[0]
(2) 経常外費用	[0]	[0]	[0]
当期経常外増減額	0	0	0
他 会 計 振 替 前	0	71,000	71,000
当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額	0	0	0
他 会 計 振 替 額	0	0	0
税 引 前 当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額	0	71,000	71,000
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	0	71,000	71,000
当期一般正味財産増減額	0	0	0
一般正味財産期首残高	3,000,000	0	3,000,000
一般正味財産期末残高	3,000,000	0	3,000,000
II 指定正味財産増減の部			
受 取 寄 附 金	0	8,000,000	8,000,000
受 取 補 助 金	2,506,300	0	2,506,300
一 般 正 味 財 産 へ の 振 替 額	4,807,780	2,710,334	7,518,114
当期指定正味財産増減額	△ 2,301,480	5,289,666	2,988,186
指定正味財産期首残高	8,560,435	5,514,287	14,074,722
指定正味財産期末残高	6,258,955	10,803,953	17,062,908
正味財産期末残高	9,258,955	10,803,953	20,062,908

財産目録

令和5年3月31日現在

(単位:円)

科 目	場所・物量等	使用目的等	金額
I 資産の部			
1 流動資産			
普通預金	広島銀行油木支店	運転資金として	1,089,982
未収入金	神石高原町	ふるさと応援寄附金からの交付金	2,506,300
仮払金	理事他	報酬等に対する源泉所得税	26,870
流動資産合計			3,623,152
2 固定資産			
特定資産			
普通預金	広島銀行油木支店	使途指定寄附金・使途指定補助金	10,011,113
	福山市農業協同組合三和支店	寄附者および町の指定した用に供するために管理している	0
	福山市農業協同組合三和支店	使途指定借入金	3,218,625
	広島銀行油木支店	貸付者の指定した用に供するために管理している	0
	広島銀行油木支店	設立時拠出金	3,000,000
		運用益を公益目的事業の用に供している	
普通預金 計			16,229,738
投資有価証券	中ちゃん農園	地域振興事業に係る私募債	0
	ヴィレッジホーム光末	地域振興事業に係る第三者割当増資分株式	20,000,000
	フェアトラベルジャパン	地域振興事業に係る私募債	10,000,000
	ナオライ神石高原	地域振興事業に係る私募債	2,000,000
	ヤマテツライジング	地域振興事業に係る私募債	7,500,000
	㈱ダストマンズ	地域振興事業に係る私募債	4,000,000
	㈱DroneScenery	地域振興事業に係る私募債	1,800,000
	㈱アールティー	地域振興事業に係る私募債	4,000,000
	神石高原グリーン電力㈱	地域振興事業に係る私募債	27,000,000
	㈱BINGO	地域振興事業に係る私募債	15,000,000
投資有価証券 計			91,300,000
特定資産合計			107,529,738
固定資産合計			107,529,738
資 産 合 計			111,152,890
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金		業務委託費・事業旅費交通費	955,496
未払法人税等			71,000
預り金		源泉所得税	63,486
流動負債合計			1,089,982
2 固定負債			
長期借入金	事業資金借入	神石高原町	90,000,000
固定負債合計			90,000,000
負債合計			91,089,982
III 正味財産の部			
1 一般正味財産			
			3,000,000
2 指定正味財産			
			17,062,908
正味財産合計			20,062,908

第2号議案

【今年度の事業活動方針】

＜事業計画の基本方針＞

神石高原町においては、最新の国勢調査からもわかるように、人口減少は継続、高齢化率の上昇も継続しております。またコロナ禍、原料高の継続等、経済状況は依然厳しく、地域における雇用の増加と経済環境の好転を画策した継続的な打ち手の実施が不可欠な状況です。そこで次代を担う人材の新しいチャレンジを継続して応援することで、新しい事業創造を図り、地域の活性化、にぎわい創出に繋げていくというビジョンを引き続き掲げ、神石高原地域創造チャレンジ基金は、第7年度も、新しい事業を検討されるみなさまのサポートを実施することで地域に新しい事業と雇いを創出できるよう、継続して活動し地域の活性化をめざして運営してまいります。

本年度も合計 3,000～5,000 万円程度の資金支援実行をめざします。案件の募集方法につきましても、町と連携して新しいタイプの募集形式を検討します。そのためにも昨年度実施しました中山間地域における先進的な取組をされている徳島県神山町への視察旅行における事例等を参考に地元ニーズを勘案して検討します。また、本年度においては、現在までの基金の取組状況を分析してその将来を検討できる場と想定して、「神石高原社会インパクトフォーラム((仮称))」と題したフォーラムを開催したいと考えております。

また現在までに採択された支援先に対しては、引き続き、経営的にも妥当でかつ支援先が望む形での経営支援を実施してまいります。みなさまへの支援を通じて支援先の事業価値が継続して向上し、当初の資金支援部分が基金に償還されることで、地域資源が循環し、神石高原町の地域活性化を目指しての将来の事業チャレンジ先に資金支援が継続して実行できることを目指します。広報においては、社会インパクトを想定した循環投資の先進事例として基金を周知していくと共に、引き続き神山町含めた先進的な地域課題の解決に取り組む地域との横断的なつながりも広げていき、基金の運営状況を地域住民の方々向けにもより具体的に情報を発信していきます。

運営部分の費用および基金からの資金支援部分に振り向ける資金は引き続き、民間からも広く寄付を募集し、本年も継続獲得をめざして募集広報活動を実施いたします。

＜本年度の実行目標＞

- 事業募集の継続(年2回)説明会、個別相談会の運営、事業評価選定委員会の開催
- ビジネスチャレンジ事業者を継続して呼び込むため、事業計画作成勉強会などの取組を引き続き実施する
- 既存支援先に対しては、経営的支援など具体的支援を継続し、ビジネス事業者の早期の経済的・事業的な自律を目指す
- 定期的に既存支援先訪問を行う事で信頼関係の更なる構築、状況把握を行う
- 基金の実質運営体制については、引き続き地域の方中心で行えるよう移行していく
- 「神石高原社会インパクトフォーラム(仮称)」の実施(年度後半)
- 町と連携して、新しい形での案件募集を検討(建物有効活用、インフラ事業関連等)

CHALLENGE

神石高原地域創造チャレンジ基金

- 神石高原町に留まらず、地域内外での認知度を継続して向上させる

＜本年度のスケジュール＞

- ・7月～8月:第12回事業募集
- ・9月 :第12回支援先採択
- ・10月 :「神石高原社会インパクトフォーラム(仮称)」の実施
- ・10月以降:案件毎順次支援開始
- ・12月～1月:第13回事業募集
- ・2月 :第13回支援先採択
- ・3月以降: 案件毎順次支援開始

以上

第3号議案 【今年度の予算計画】

正味財産増減計画書

	R5年度予算
1 経常増減の部	
(1) 経常収益	
① 受取寄附金	[7,900,000]
受取寄附金	0
受取寄附金振替額	7,900,000
② 受取補助金	[0]
受取補助金	0
受取補助金振替額	0
③ 雑収益	[300]
受取利息	300
	0
経常収益計	7,900,300
(2) 経常支出	
① 事業費	[5,109,160]
役員報酬	2,124,800
給与手当	1,742,400
業務委託費	600,000
旅費交通費	221,960
通信運搬費	50,000
広告宣伝費	300,000
会議費	10,000
委託費	0
雑費	20,000
租税公課	40,000
支払手数料	
② 管理費	[2,760,580]
役員報酬	1,062,400
給与手当	871,200
法定福利費	10,000
業務委託費	0
旅費交通費	110,980
通信運搬費	20,000
消耗品費	10,000
地代家賃	0
租税公課	10,000
支払手数料	150,000
謝金	500,000
諸会費	6,000
雑費	10,000
経常費用計	7,869,740
当期経常増減額	30,560
2 経常外増減の部	
当期経常外増減額	0
税引前当期一般正味財産増減額	30,560
法人税、住民税及び事業税	71,000
一般正味財産期首残高	3,000,000
一般正味財産期末残高	2,959,560
指定正味財産増減の部	
受取寄附金	8,000,000
受取助成金	[1,000,000]
(運営補助金)	0
(ふるさと納税分)	1,000,000
一般正味財産への振替額	[3,906,700]
(寄附金【運営】振替)	2,906,700
(寄附金【資金】振替)	
(補助金振替)	1,000,000
指定正味財産期首残高	17,062,908
指定正味財産期末残高	22,156,208
II 正味財産期末残高	25,115,768

第4号議案

令和4年度の決算完了時の任期満了に伴い、令和5年度以降の理事・監事の体制は以下の通りとする。任期は2年で、令和7年度の決算完了時までとする。

- ・ 上山実 : 理事 ⇒ 留任 (報酬は現行通り理事会参加毎、23,400円とする)
- ・ 小林正和 : 理事 ⇒ 留任 (同上)
- ・ 井上義雄 : 理事 ⇒ 退任 (顧問に就任予定)
- ・ 吉田哲也 : 理事 ⇒ 新任 (事務局長より就任。専務理事として、報酬月額25万円とする)

- ・ 岡崎武志 : 監事 ⇒ 留任
- ・ 本郷順子 : 監事 ⇒ 留任

以上